

人生100年時代の国家戦略 小泉小委員会の500日

人生100年時代の 国家戦略

小泉小委員会の500日

小泉小委員会オブザーバー 藤沢烈

伴走し続けた著者だから書けた

小泉進次郎と若手議員20人

激闘の記録

東洋経済新報社



発売日: 2017年12月8日

出版: 東洋経済新報社

著者: 藤沢 烈

ページ: 334

PDF

「将来の首相」小泉進次郎の500日にわたる激闘を描いた、初めての本！

新しい日本の姿がここにある！

小泉進次郎が代表代行を務める「2020年以降の経済財政構想小委員会」で交わされた、500日間の激論。
これに端を発した社会保障改革は、安倍政権による「全世代型の社会保障論」へも多大な影響を与えた。

政財界を巻き込んだ論争へと発展した小泉らの「人生100年時代の国家戦略」の真意は、どこにあったのか。
小泉進次郎の前に立ちちはだかった「抵抗勢力」とは何だったのか。

小泉らと共に走り続けた男、新世代のオピニオン・リーダー藤沢烈氏が、小泉進次郎と若手議員20人による
「激闘の500日」と、そこから見えた小泉進次郎らの「国家観」をドラマチックに描き出す。

かつて幸せになるために作られたレールが今、
この国の閉塞感につながっている。
政治が、その「レール」をぶっ壊していく。
もっと自由に生きていける日本を創るために。
小泉小委員会の提言「レールからの解放」より抜粋

【小泉小委員会とは】

2016年2月、小泉進次郎、村井英樹、小林史明を中心に若手議員でつくられた自民党「2020年以降の経済財政構想小委員会」（委員長代行：小泉進次郎）の通称。
500日間にわたり、迫り来る人生100年時代の国家戦略が議論された。

全体コンセプトである「レールからの解放」（同年4月）に基づいて発表された「厚生労働省分割案」（同年5月）、「人生100年時代の社会保障へ」（同年10月）、「こども保険の導入」（2017年3月）はいずれも党内外で大きな話題を呼び、政府にも影響を与えた。

【主な内容】

はじめに
序章 異議あり
第1章 レールからの解放
第2章 人生100年時代の社会保障
第3章 こども保険をつくる
終章 骨太の方針
おわりに
資料編

<https://k2s.cc/file/658ae3d564171/oAK9iiYj9.pdf.rar>